

農林水産委員会 県内所管事務調査の概要

【令和2年5月20日（水）】

◆調査箇所：大分広域白ねぎ就農学校（豊後高田市呉崎）

＜概要＞

大分広域白ねぎ就農学校は、西日本有数の生産量を誇る白ねぎの担い手確保・育成を目的に設立され、広域的な支援により研修地と就農地が異なる場合にも対応している。

今回の視察では、就農学校の概要や研修生の状況について調査を行った。



＜主な質疑等＞

- ・就農後の農地確保について
- ・研修生の募集方法について
- ・就農にあたっての支援について

◆調査箇所：北部振興局、農林水産研究指導センター農業研究部水田農業グループ、水産研究部北部水産グループ、宇佐家畜保健衛生所

＜概要＞

北部振興局（管轄：中津市、豊後高田市、宇佐市）、農林水産研究指導センター農業研究部水田農業グループ、水産研究部北部水産グループ及び宇佐家畜保健衛生所における組織及び管内の概要や、白ねぎを中心とした園芸戦略品目等への生産転換、水田畑地化を実現するための技術開発、ヒジキ養殖技術の開発、家畜伝染病予防対策の取組等についてそれぞれ説明を受け、意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・スマート農業の方向性について
- ・大分広域白ねぎ就農学校への対応について
- ・新型コロナウイルス感染症対策について

◆調査箇所：中津港（中津市田尻崎）

＜概要＞

大分県北部流域林業推進協議会は日新林業株式会社（島根県）と原木安定取引協定を締結し、中津港から合板用スギ丸太の共同出荷を継続して行っている。

調査当日は、協議会メンバーの株式会社中津木材相互市場代表取締役若松氏から共同出荷の概要や今後の展望について説明を受けた。



＜主な質疑等＞

- ・原木価格について
- ・中国への輸出について
- ・荷役の確保について

【令和2年5月21日（木）】

◆調査箇所：西部振興局、農林水産研究指導センター林業研究部、玖珠家畜保健衛生所

<概要>

西部振興局（管轄：日田市、九重町、玖珠町）、農林水産研究指導センター林業研究部及び玖珠家畜保健衛生所における組織及び管内の概要や、農地の有効活用・水田の畑地化、新規就農者等の状況、林業・木材産業の振興、スギ大径材の有効利用技術の開発、家畜伝染病予防対策の取組等についてそれぞれ説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・新規就農者への支援について
- ・「うまみだけ」の生産者確保について

◆調査箇所：日出生地区（玖珠町大字日出生）

<概要>

玖珠町土地改良区は、日出生地区において農業用水利施設を活用した小水力発電を行い、発生した電力を供給、売電することで、高齢化に伴う水路維持の負担軽減、土地改良施設の維持管理費の節減を図っており、農村地域が持つ資源を活用し、地域の発展に取り組んでいる。

今回の視察では、小水力発電の概要や課題などについて説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・売電効果について
- ・維持管理上の課題について
- ・小水力発電のリスクについて

【令和2年5月25日（月）】

◆調査箇所：中部振興局、大分家畜保健衛生所

<概要>

中部振興局（管轄：大分市、臼杵市、津久見市、由布市）及び大分家畜保健衛生所における組織及び管内の概要や、新型コロナウイルスへの対応、養殖業の振興、南海トラフ地震対策の取組等についてそれぞれ説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・外国人技能実習生の現状について
- ・持続化給付金等の情報提供について
- ・新規就農者の確保について

◆調査箇所：南部振興局、農林水産研究指導センター水産研究部

<概要>

南部振興局（管轄：佐伯市）及び農林水産研究指導センター水産研究部における組織及び管内の概要や、新型コロナウイルスへの対応、儲かる園芸産地の拡大、養殖業の振興、ブリ等の種苗生産技術開発の取組等についてそれぞれ説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・鳥獣被害の動向について
- ・かぼすブリについて
- ・赤潮の発生状況について

◆調査箇所：放生溜池（大分市大字高崎）

<概要>

放生溜池は、江戸時代に造築された、水田2.5ヘクタールを受益とする貯水量304,500トンの農業用溜池で、本体の老朽化により農業用水の確保に支障をきたすこと、また、大規模場地震や豪雨が発生した場合には、下流の農地及び人家等に多大な被害を及ぼすおそれがあるため、改修工事を行っている。

今回の視察では、工事の概要及び進捗状況などについて調査を行った。



<主な質疑等>

- ・工法について
- ・作業中における安全確保について

【令和2年5月26日（火）】

◆調査箇所：東部振興局、農林水産研究指導センター農業研究部果樹グループ、花きグループ

<概要>

東部振興局（管轄：別府市、杵築市、国東市、姫島村、日出町）、農林水産研究指導センター農業研究部果樹グループ及び花きグループにおける組織及び管内の概要や、新型コロナウイルス感染症の影響等、水田畑地化の推進、果実安定栽培技術の開発、遺伝資源を活用したオリジナル花きの育種と栽培技術の取組等についてそれぞれ説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・七島イの状況について
- ・国東オイスターの生産状況について
- ・果樹の品種改良について

◆調査箇所：由布岳地区（由布市湯布院町塚原）

<概要>

由布岳地区北側斜面には、約30ヘクタールに及ぶ大崩壊地があり、災害対策として大正時代から治山事業が行われている。

近年では、平成24年の九州北部豪雨により大量の土砂が流出したことや、平成28年の熊本地震により山腹が崩壊し、渓流内に不安定土砂が堆積していることが課題となっており、現在、国有林と連携し治山ダムの整備を進めている。

今回の視察では、工事の概要及び進捗状況などについて調査を行った。



<主な質疑等>

- ・土砂の堆積量とその有効利用について
- ・今年度工事の詳細について
- ・施工業者について

【令和2年6月10日（水）】

◆調査箇所：綿田地区（豊後大野市朝地町綿田）

<概要>

綿田地区は、平井川沿いの水田地帯（3.9ヘクタール）で、御膳米として知られた綿田米の栽培が盛んな地域である。

平成29年5月に発生した地すべり被害で、農地の地割れ、用排水路、農道の崩壊が生じ、一時、立入りが禁止され、米の生産ができない状態であった。地すべり対策工事が進み、平成30年12月に立入禁止が解除となり、令和元年8月から圃場整備工事により農地の復旧を行っている。

今回の視察では、工事の概要及び進捗状況について調査を行った。



<主な質疑等>

- ・地下水位の観測状況について
- ・地すべりの変動状況について
- ・避難住民の状況について

◆調査箇所：豊肥振興局、農林水産研究指導センター農業研究部、畜産研究部、林業研究部きのこグループ、農業大学校

<概要>

豊肥振興局（管轄：竹田市、豊後大野市）、農林水産研究指導センター農業研究部、畜産研究部、林業研究部きのこグループ、農業大学校における組織及び管内の概要や、新型コロナウイルス感染症の影響、転炉スラグの活用拡大、ゲノム育種価選抜による種雄牛、きのこグループオリジナル品種の育成、農業大学校での教育・研修の状況等についてそれぞれ説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・転炉スラグ導入の成果について
- ・キクの「のれん分け」システムについて
- ・気候変動への対応について

◆調査箇所：大蘇ダム（熊本県産山村）

<概要>

令和2年4月から本格通水を開始した大蘇ダムからの安定した農業用水により、水田の水不足の解消、天候に左右されない畑かん営農の実現によるキャベツ、にんじん等の露地産地拡大、トマト等の施設園芸の産地拡大を図るため、県営事業であるダムから受益農地までの畑かん施設の早期完成を目指している。

今回の視察では、ダムの概要や露地野菜産地強化に向けた支援などについて調査を行った。

